

令和8年度第2回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和8年6月25日（木） 午前10時～午後12時10分
2. 開催会場 印西市役所 大会議室
3. 出席者 戸川和成委員長、木名瀬昭一委員、小野ひとみ委員、上田一生委員、宮本楓美子委員、田揚正子委員、山川信一委員、高津浩司委員、棚橋明委員（以上9名）
4. 事務局 市民活動推進課 秋山課長、金子課長補佐、峰村係長、諫見主任主事
5. 傍聴者 0名（定員5名）
6. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 議題
 - （1）企画提案型協働事業（令和7年度実施分）の評価について
 - ・提案1 市民に愛され親しまれる印西市立図書館を目指す事業
 - ・提案2 年長さん思い出プロジェクト（身体の基盤づくり）
 - ・提案3 虐待予防事業
「子育てを学ぼう！乳幼児から始める子どもの心のコーチング」
 - ・提案4 市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系
 - ・提案5 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
 - ・提案6 グリーンカーテン大作戦
「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」
 - ・提案7 里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業
 - ・提案8 #私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～
 - （2）令和8年度企画提案型協働事業の書類審査について
 - 3 その他
 - 4 閉会

7. 会議要旨

（1）企画提案型協働事業（令和7年度実施分）の評価について

《事務局説明》企画提案型協働事業（令和7年度実施分）の評価について、業務完了報告書及び参考資料、協働の機会提案書、事後評価シート（比較表）を用いて提案ごとに説明。あわせて、事前にいただいた質問及び意見について説明。またその場でも質疑応答対応。

《委員質問・検討》

提案1について

委員：当初はコミュニケーションをとることが難しかったけれども、徐々に改善していったという事で、どのように改善していったのか。今年度他の団体が協働事業を進めていくにあたって、参考になると思う。

事務局：当初、団体のやりたいことが、講演会事業だけでなく、多岐に渡っていた。その点が生涯学習課から見ると、実務上難しいことが多かった。しかし三者協議を重ねる中で、講演会事業に注力することとし、やりたいことが明確になった。講演会も無事完了し、改善が図られたと考える。

委員：事後評価シートの中で、委託金の前金払いの対応を、市に検討して欲しいとある。改めて事務局の方に、見解をお伺いしたい。

事務局：基本的に前金払いは、前金払いをしなければ契約履行が難しい場合に限る。委託金が約 36 万円ということもあり、通常払いという形になったと思うが、担当課と協議し、団体として支出が難しいということであれば、前金払いを導入することも考えられる。

提案 2 について

委員：委託事業として行う予定とのことで、市としての認識を伺いたい。

事務局：市側はバランスボールによる体幹機能の向上というよりは、バランスボールを使って子供たちが楽しむことに、この事業の意義があると考えていると思われる。そのためまだ先の話にはなるが、今年度協働事業として実施し、成果があれば、委託事業として実施する予定であると思われる。

提案 3 について

委員：アンケートの形式を揃えることは可能か。

事務局：企画提案型協働事業の仕組み上、団体に事業を実施してもらう形なので、統一することは難しいと思われる。

委員：例えば実施前と実施後で取るとか、イベントの参加者には必ず取るとか、アンケートの取り方について意見があったという事は、伝えて下さい。

委員：今年度は告知方法の改善により、定員以上の応募があったとのこと。この団体は中学生向けの、大きなお子さんをお持ちの方の講座の集客に苦戦されていた印象がある。今回の成功を生かして頂けたら、より様々な保護者の方に届くのではないかと思う。

提案 4 について

委員：備品を置く倉庫が作るのが、今後の課題とある。土地は印西市の物だと思うが、設置をしたら印西市が設置をするのか。

事務局：担当課に確認する。

提案5について

委員：他市から来場者が来ていることが良いことの1つとして書かれているが、考え方としていいのか。市民をメインにしているのか、他市の人をメインにしているのか。活動が広がったり、世間に認知されていったりというのは、喜ばしいことではあるが、主目的でよろしいのか。

事務局：維持管理をして市民に愛されていくことが、主目的ではある。そのうえで副次効果として、他市から人が来場することは、良い事だと考える。

提案6について

委員：この事業は環境への意識啓発に重点を置いていると理解しているが、市としてもこの事業によって意識啓発がされていると、考えているか。

事務局：実績を見ると、ラインやインスタグラムの登録者数が増えていたり、出前講座・イベント参加者の合計が700名以上になっていたりしているので、意識啓発できていると考えている。

提案7について

委員：これも委託事業になるのか。

事務局：こちらは、協働事業の指定テーマ型で継続予定である。

委員：「担当者の異動があると混乱が生じる」と記載がある。協働事業だからこういうことが起きているのか。それとも委託事業になったら、引き継ぎがもう少しスムーズになるのか。

事務局：協働事業と委託事業で、変わるわけではない。印西市役所には定期的に人事異動があるため、そこで団体に御迷惑をおかけしてしまったと思われる。近年引き継ぎをスムーズにするため、月ごとにやるべき業務を一覧にする取り組みが行われている。その取り組みで少しずつ改善はされていくと、考えている。

委員：提案書のボリュームが多すぎて、言いたいことが分からない。簡潔明瞭にしてほしい。

委員：これは協働事業なのかと思う部分もある。専門家が見たら分かると思うが、資料が市民向けではないと思う。

提案8について

委員：こちらの事業も引き続き、指定テーマ型で継続の予定か。

事務局：継続予定である。今年度も指定テーマ型で提案があった。

委員：誰もが参加できるコミュニケーションの場として捉えているのか。

事務局：毎月第3火曜日にコットンカフェというものを行っており、対象が子供から大人までとなっている。学生の子が多いとは思いますが、性に悩む人を幅広く受け入れているものと考えられる。

委員：今後の展望で、「介護リアンなど行政他団体の連携による地域網の構築」とあるが、高齢者の方々にもアプローチしていくということか。

事務局：評価シートからは、そう読み取れる。

委員：わざわざパレットまで行って相談できる方は限られてくると思う。学校での性教育授業の提案は取り下げられたとのことだが、学校との繋がりも考えたほうがいいのではないか。他課の協力も必要だと思うが、男性生徒にもアプローチできると思う。団体間の連携だけではなく、公共施設、学校との連携も、課のサポートで広がっていくといいと思う。

（2）令和8年度企画提案型協働事業の書類審査について

《事務局説明》

令和8年度企画提案型協働事業について、辞退となった提案1と免除提案以外について書類審査を行った。審査結果は以下の通り。

【審査結果】

提案番号	事業名	○	△	結果 (可/否)
2	田んぼでつながる親子ふるさと体験事業	9	0	可
5	里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業	9	0	可
6	#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～	9	0	可

《委員質問・検討》

提案2について

委員：提案書の内容について、ある程度関連課とも話して、提出しているような状況か。

事務局：今年度実施要領を改正し、関連課との相談を義務付けたので、農政課ともコミュニケーションが取れていると聞いている。関連課チェックシートを見ても、概ね感触としては良好だと思われる。また市民活動推進課としては、提案書の様式として整っているか、予算の数字が合っているかというのは確認させて頂いている。内容については農政課に見て頂いて、関連課チェックシートで問題ないとの回答を得ている。様式の面から見ても事業内容の面から見ても、ある程度のチェックはできていると思われる。

委員：昨年度のように協議の結果、取り下げられる可能性は低くなっていると、考えてよろしいか。

事務局：はい。

委員：昨今、田植え・草刈・稲刈り等は手作業ではなく機械で実施している。その体験とは、どのように体験するのか。また問題提起に、地域農業の担い手不足とあるが、この事業で地域農業の担い手不足が改善されるのか。

事務局：この事業は効率面ではなく、参加者が手作業での体験を通して、農業に興味を持って頂くことを、趣旨としていると考えられる。

委員：提案者の方は農家か。農家ではない方がこういうことを教えられるか分からない。また印西で実施するのはどういう趣旨で、実施場所はどこなど、具体的なことが書いていない。

委員：印西市 20 周年記念の際に、農家の協力を得て、田植え体験会を行ったが、手植えで行った。親も子もあまり経験がない人が多い。

提案 5 について

委員：指定テーマ型の事業で、アイデア審査で落選ということはあるか。

事務局：審議会の方で「否」となれば、それは答申として市長の方には上げられる。市として、市長として判断することになる。基本的には審議会の皆さんの意見を尊重することにはなる。

委員：提案 5 の何を審査すればいいのか分からない。

委員：継続提案だが、昨年度と比較して、何ができて何ができなかったのか、明確に書いてないと思う。またどのような保全体制の仕組みが、前年度に増して、この提案の中に実現されるのかが書いていないので、気になる。

委員：内容的には、もう市民活動の範囲を超えて、委託事業として取り組むべき問題ではないかと思う。

委員：担当課の回答が「市民活動団体間の連携を図ることができたら、市内全域の保全活動ができるため、市民活動団体のニーズはあると考えられる」という回答に留まっているのが気になる。市に、SODOと協働することのメリットを伺いたい。

委員：事後評価シートの今後の展望に、「大きな課題となっている担い手の確保方策について、具体的な取り組みを進めていきたい」とあるが、今年の提案書の中には、その項目がない。

提案6について

委員：この事業は委託事業にしないのか。

事務局：委託については市としても契約上のルールがあり、金額にもよるが、特定の事業者を名指しで契約をすることはできない。競争の原理に基づいた契約しかできないので、委託となった場合は、他にも事業をできる団体がいるのではないかとということになる。委託契約できる条件や、金額等を改めて確認させて頂きたい。

以上

令和8年6月25日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和8年7月22日

会議録署名委員 棚橋 明